

令和3年度富山県原子力防災訓練の実施



<日時>

11月23日(火・祝) 7:30~12:00(予定) ※一部14:00頃

<参加・協力機関、参加人数>

国、富山県、氷見市、南砺市、関係機関等 51機関 約500人

<場所>

図上訓練：富山県庁、氷見市役所、志賀オフサイトセンター等

実動訓練：氷見運動公園、氷見市立北部中学校、

南砺市福野文化創造センター 等

<訓練想定>

- ① 石川県志賀町で震度6強の地震が発生し、志賀原子力発電所2号機において、原子炉が自動停止するとともに外部電源を喪失。その後、非常用の炉心冷却装置による注水が不能となり、全面緊急事態となる。

→屋内退避訓練

- ② さらに事態が進展(48時間経過した設定)し、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺に及ぶ。

→一時移転訓練

<図上訓練のポイント> ※石川県と 合同で実施



○原子力災害対策本部訓練

(県庁4階大会議室、富山県議会議事堂大会議室 等)

情報収集・伝達、対応方針の決定、対策会議開催 等

① **新** 原子力防災ネットワークシステムを活用した情報共有

○富山県現地対策本部訓練(志賀オフサイトセンター)

国、石川県、関係機関と連携した情報収集、共有、調整 等

② **拡** 現地対策本部長として副知事を派遣

<実動訓練のポイント>

○緊急時モニタリング訓練(氷見市内)
空間放射線量率の測定等



○広報及び屋内退避訓練

(氷見市内 ※屋内退避訓練はUPZ内全域)

防災行政無線等による広報、
屋内退避の実施



○一時移転訓練(氷見市碁石地区、余川地区、稲積地区)

住民の訓練参加間隔を8年から5年に見直し(R2~)

①一時集合場所への集合(氷見市立北部中学校、公民館)

②安定ヨウ素剤配布(同上)



③避難退域時検査の実施(氷見運動公園)

新たに整備した氷見運動公園を最大限に活用し、その効果を検証

※石川県からの避難を想定し、2会場分の検査体制で実施

① 新たに作成した検査マニュアルの活用

② ドローンを使用した効率的な誘導等の実施



④広域避難の実施(南砺市福野文化創造センター)

① 避難先が使用できない場合を想定した代替避難所の開設運営